

令和元年12月9日

〔石川県  
広島県〕 がん対策担当課長 殿

日本医師会総合政策研究機構 主席研究員  
上家 和子

『がん治療と就労の両立のための連絡カード案試行調査』の実施について

謹啓 貴県におかれましては時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
日頃より当機構の調査研究にご理解ご協力を賜り篤く御礼申し上げます。

貴県におかれては、昨年度実施した調査研究『がん治療と就労の両立のための医師連携』  
においてご協力を賜りました。この場を借りて重ねて御礼申し上げます。

今年度は、昨年度の結果等を踏まえ、治療と就労の両立のための連絡のための連絡カー  
ド案（以下、『連絡カード』という。）を作成し、昨年調査において先進地域としてご紹  
介させていただいた石川県、広島県、両県内のがん診療連携拠点病院での試行にご協力  
をお願いする次第です。

なお、別添のとおり、貴県医師会様には、日本医師会長より協力を要請していることを  
申し添えます。

貴県におかれては、がん診療連携拠点病院における本試行調査にご協力くださいますよ  
う、ご支援のほどお願い申し上げます。

謹白

添付 『がん治療と就労の両立のための連絡カード案試行調査』の実施について

本件に関するお問い合わせ

日本医師会総合政策研究機構 主席研究員 上家和子（かみやかずこ）

[k.kamiya@jmarl.med.or.jp](mailto:k.kamiya@jmarl.med.or.jp) 03-3942-7215



日医発 881 号 (総研 57 号)

令和元年 1 2 月 9 日

石川県  
広島県

医師会長 殿

日本医師会  
会長 横倉



『がん治療と就労の両立のための連絡カード案試行調査』の実施について

謹啓 貴会におかれましては時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会会務の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国は、人生 100 年時代を迎えて、治療と就労の両立支援は大きな課題となっております。こういったなか、日本医師会総合政策研究機構では、昨年来、がん診療における両立支援の状況について調査研究を実施しており、今年度は、治療と就労の両立のための連絡のための連絡カード案（以下、『連絡カード』という。）を作成したところです。この連絡カードは、母性健康管理指導事項連絡カードを参考に治療と就労の両立を目指す患者を中心に、診療担当医に大きな負担をかけることなく、事業場および産業医と診療担当医の連絡のきっかけを作ることを目的としています。具体的には、患者が連絡カードを手にし、事業場の了解を得たうえで、自身の困っていることをあらためて整理し、これに対して主治医が意見を記し、本人の手で事業場または産業医に提出する、という使用法を提案するものです。

つきましては、昨年の調査において先進地域としてご紹介させていただいた石川県、広島県の両県内のがん診療連携拠点病院での連絡カードの試行にご協力をお願いする次第です。貴会におかれては、本試行調査にご理解を賜り、ご協力を促していただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

#### 添付資料

- ・両立支援連絡カード試行調査企画書
- ・両立支援連絡カード・調査用紙患者用・調査用紙主治医用・調査用紙事業場用  
および・患者用説明文 原稿

#### 本件に関するお問い合わせ

日本医師会総合政策研究機構 主席研究員 上家 和子（かみやかずこ）

[k.kamiya@jmari.med.or.jp](mailto:k.kamiya@jmari.med.or.jp) 03-3942-7215